

異文化理解を深めたい

深川国際交流協会 会長 小瀧 聡

国際交流の主役は地域の人達です。よく草の根交流と言われますが、普段着姿の市民が、気軽に異文化を体験、理解し、そして、自分たちの文化を他の国の人達に発信し、相互理解を深めることが大切であると考えます。深川にも定住する外国人が増えてきました。また、深川を訪れる外国人を目にする機会も多くなりました。こうした人たちに日本文化、深川の人々の本当の姿を知ってほしいと願っています。

2018 年は、深川市がアボツフォード市と交流を始めて 20 年の節目の年になります。今年 6 月にはアボツフォードから、環境問題と農業に関心を持った人たちの集団が深川を訪れます。公式訪問団としてではなく共通の関心を持った人たちの集団が訪ねてくるのは初めてのことだと思います。草の根交流を深める良い機会にしたいと思っています。深川と近郊にいてこの分野に関心を持つ人たちとの交流が深まり、意義深い交流となるよう協会としても積極的に取り組みたいと考えています。

2017 年も協会が主催する活動には多くの参加者がつめかけ盛会のうちに終わることが出来ました。この最大の要因は、なんといっても新しく協会員となった若い会員が、持ち前のエネルギーを発揮して創意工夫を凝らした企画を取り入れ、参加者が楽しめる中身とするための改善を進めてきたからだと思います。これに、慢心することなく、多くの人の声に耳を傾け、常に「改善の余地はある」という意識で各種活動に取り組んでいきたいと思っています。

深川国際交流協会総会

2017.4.24 (月)

プラザホテル板倉にて深川国際交流協会総会を開催しました。総会では、2016 年度事業報告および決算報告、2016 年度監査報告がされました。また、2017 年度事業計画および予算が提案され承認されました。

総会後には深川市の A L T ケビン・ユーロさんにスピーチしていただきました。



20周年記念事業 インターナショナルデー

2017.6.7 (水)

Program	
17:00	参加者の紹介
17:15	ALTのゲーム *Toilet Paper Costume Game
17:45	Team Canadaのゲーム *Don't Fall!!!
18:05	Break time
18:25	拓殖大学 北海道短期大学留学生のゲーム
18:50	表彰・閉会式



ブレイクタイムを挟み、3番目の拓大留学生たちによる中国・ネパールに関する文化の違いクイズは、日本とはまったく違うものもあり、笑いと言きの連続で、やはり国際交流って素晴らしいと改めて思うものでした。

今年も6カ国以上の方々と、国際色豊かなインターナショナルデーとなりました。

【国際理解部会 理事 増永 朱美】

2017年度インターナショナルデーは、市内外ALT、介護福祉士・研修生、拓大留学生を含む85名の参加をいただき、プラザホテル板倉にて開催しました。

ALTケビンによるゲームは各テーブルを1チームとし、トイレットペーパーのみを使い即興でコスチュームを作り、ベストコスチュームを決めるというゲームでした。おすもうさんやプリンセス、ミイラなど様々なアイデア作品が出来、会場は笑いに包まれました。

2番目の青少年カナダ交流訪問団に参加したチームカナダによる椅子乗りゲームでは、徐々に数少なくなっていく椅子の上に乗る、チーム一丸となり手を繋ぎ椅子から落ちないように励まし合い支えあって、皆汗をかきながら大変盛り上がりました。



20周年記念事業 英語で遊ぼう

2017.7.1 (土)

『英語で遊ぼう』は、これからの青少年カナダ交流訪問団育成の一環として、主に小学5・6年生の子どもたちに外国の人々との交流を前もって体験してもらおうというもので、7月1日に深川中央公民館を会場として行われました。参加したのは深川市と近隣市町で英語を教えているALTの7名をはじめとし

て介護福祉士・研修生7名、小学生13名、中学生2名、2017年青少年カナダ交流訪問団団員5名、そして関係者8名を含めた合計42名の大人数でした。当日は講堂ステー



ジにカナダの国旗を飾りました。なぜならば7月1日はカナダの建国記念日（カナダデー）ですが、であると共今年2017年はカナダ建国150周年の記念すべき年（メモリアルイヤー）だからです。

主催者である国際交流協会・小瀧会長からご挨拶をいただき、早速

始まりです。参加者を5つのグループに分け、今年度青少年カナダ交流訪問団としてカナダに行くメンバー5名に各グループのリーダーになってもらうことや上記のカナダデー、メモリアルイヤーについて説明をした後、ALTの皆さんや訪問団メンバーが自己紹介をし、まだ会場の雰囲気に慣れていないであろう参加者の緊張をほぐすためのアイスブレイクへと進みました。深川市のALTケビンさんに司会をバトンタッチ。参加者全員に自分の好きなものを二種類、紙に書いてもらい、いったんその紙を集めた後、互いに「Hi, do you like ... ? (あなたは・・・が好きですか?)」と尋ねながらその紙を書いた人を見つけるという遊びです。見つかるまでいろんな人に尋ねることを続けます。全員が見つかったらそこでゲーム終了。互いに輪になって、自己紹介（私は・・・です。私は～が好きで）をします。

一見すると単純なようですが、実は結構おもしろい遊びでした。参加者の人数が多かったこともあり、予定時間をオーバーするほどでした。緊張がほぐれたところで調理室に移動し、予定していた調理の開始です。メニューは『くるみのタフィー』と

Program	
10:00	ALT・介護福祉士研修生紹介
10:05	アイスブレイク
10:30	LET'S COOKING !!
11:45	昼食
13:15	ALTのゲーム Gym Games
14:30	表彰式



『オープンサンド』。皆で和気あいあいと調理しました。

調理と昼食、そして後片付けを済ませた後、再び講堂に移動して再びケビンさんの司会によるゲームの開始です。ATOM Game、進化形ジャンケン (Evolution RPS)、バンブーニョキ (Bamboo Nyokki)、ドッジボールの4種類。最後のドッジボールは怪我のないように柔らかいボールを使用しましたが、子どもたちは結構本気で逃げ回っていました。その様子がとてもかわいらしいというか、おかしいというか……。最後に順位を発表して、それぞれちょっとしたグッズをプレゼントしました。

最初にこの催し物は主に小学5・6年生を対象としていると書きましたが、(個人的な考え方ではありますが) 興味がある方で参加人数制限内であれば、中学生であろうと高校生であろうと参加していただいてもよろしいのではないかと思います。今回で4回目の催しでしたが、内容についても目新しいものがあればどうぞご提案ください。

いずれにせよ、冒頭に書きましたようにこの『英語で遊ぼう』は青少年カナダ交流訪問団の育成の一環として、子どもたちに外国の人々との交流を体験してもらおうというものです。国際交流全般についてでも、青少年カナダ交流訪問団についてでも、あるいは外国の人々との交流についてでも構いません。ご興味のある方はどうぞ深川国際交流協会事務局までお問い合わせください。

【派遣・受入部会 理事 加納 教孝】

第19回 青少年カナダ交流訪問団派遣

2017.7.27~8.11

7月27日から8月11日までの日程で、青少年カナダ交流訪問団を青少年海外派遣事業としてカナダ・アボツフォード市に派遣しました。訪問団のカナダでの感想など詳細については、「青少年カナダ交流訪問団報告書」に掲載しています。

※活動の一部を深川市HPや当協会HPにも掲載しています。

日程	主な研修内容
7.27	バンクーバー国際空港へ
7.28	英語授業、ウェルカムランチ
7.31	英語授業、ホワイトロック散策
8.1	ヴィクトリア視察
8.2	英語授業、市役所訪問
8.3	グランビルアイランドなど散策
8.4	英語授業、ショッピング
8.8	英語授業、カルタスレイク
8.9	英語授業、送別会
8.10	帰国
8.11	深川到着



▲写真左から

香川 穂波さん(旭川西高校2年) リーダー
太田 美空さん(一已中学校2年)
鈴木 夏歩さん(一已中学校1年)
ヘンリー・ブラウン アボツフォード市長
山腋 秀康さん(深川中学校2年) サブリーダー
青木 涼馬さん(深川中学校2年)
杉山 一郎さん(団長・引率)

20周年記念事業 青少年カナダ交流訪問団報告会

2017.10.21 (土)



2017年度青少年カナダ交流訪問団に参加した中高生5名による報告会をプラザホテル板倉で行い、団員の保護者、近隣市町村A L T、拓殖大学北海道短期大学留学生、北海道カナダ協会など95名が参加しました。

報告会では、団員のリーダーである香川さんが作成したシナリオとコンテ動画を基に、団員メンバー全員及び引率者が出演してオープニングムービーを作成し、会場の雰囲気盛り上げました。その後、団員一人一人がアボツフォードで体験した貴重な経験をスライドと共に、時には会場の笑いを誘いながら発表しました。

最後に、団旗デザイン担当の青木君から、深川市やアボツフォード市の皆さんからのメッセージが書かれた団旗を披露しながらデザインについて説明し、リーダーの香川さんから、それぞれの保護者や関係者全員に対する感謝の言葉を述べて報告会は終了しました。

※「青少年カナダ交流訪問団報告書」に団員メンバー全員のカナダでの感想等が掲載されています。一部の内容については、深川市HPや当協会HPにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

20周年記念事業 国際文化交流パーティー

2017.10.21 (土)

“青少年カナダ交流訪問団報告会”に引き続き、「市内及び近郊に住む外国人との交流を図り、さらに深川国際交流協会を広く市民の皆さんにPRすること」を目的とした“国際文化交流パーティー”を開催しました。参加者の約3割が外国人で、アメリカ、カナダ、中国、フィリピンなど、まさしく国際色豊かな文化交流パーティーとなりました。



ビュッフェ形式でプラザホテル板倉のお料理を食べながら、深川市在住でソプラノリストの菊入三恵さんによるミニコンサートが行われました。鹿野友代さんによるピアノの生伴奏と合せ、しっとり「Ave Maria」や軽快なリズムで「365日の紙飛行機」等を多彩に歌い上げては、2年前の青少年カナダ交流訪問団にご息が参加されたこと等のMCで会場を沸かせて頂きました。

次に、医療法人アンリー・デュナン会 EPA 介護福祉士候補生の4名により、キャンド



ルを使ったフィリピンの民族舞踏が披露されました。異国ならではの軽やかなステップを踏みながら、手に持つキャンドルの炎を消さない様に華麗に舞い、会場は初めて見るダンスに和やかな雰囲気になりました。

最後は、恒例となった「国際交流じゃんけん大会」が行われ、中国語、フィリピン語、英語、そ

して日本語による“じゃんけん”の合図により、小瀧会長 vs. 会場での勝抜き戦で楽しみました。

毎年、参加者が増加傾向にある国際文化交流パーティー等を通して、より多くの市民の皆様にも国際交流協会を知っていただく事業を、今後も開催していくことを考えておりますので、来年もぜひご期待ください。



【国際理解部会 部会長 杉山 一郎】

賛助会員のご紹介

当協会を支援していただいて賛助会員の中から、掲載のご了承をいただいた会員を五十音順にご紹介します（当協会ホームページでも掲載しています）。

掲載をご希望される賛助会員の方はご連絡ください。

医療法人アンリー・デュナン会	協立測量設計株式会社
(株)倉本道新販売店	(株)しまの
神竜土地改良区	多度志土地改良区
寺岡工務株式会社	中澤歯科整形外科医院
廣野スポーツ（ヒロノ(株)）	深川市役所
深川青年会議所	深川土地改良区

20周年記念事業 青少年カナダ交流訪問団同窓会

2017.10.21 (土)



深川国際交流協会 20周年の本年度にどのような事業を実施するか検討しました。10年前の資金力は無いので、積み上げてきた事業を基本にという思いから「青少年カナダ交流訪問団同窓会」を実施しました。

何よりも大変だったのは、事務局にお願いした訪問団参加者の住所確認と案内状送付でした。参加者からの返信が少なく心が折れそうになりながら、

実施に向けての話し合いと準備を行いました。

10月21日(土)平成29年度のカナダ交流訪問団(カナダ組)の報告会終了後に訪問団同窓会を開催しました。今年度の訪問団員5名、歴代訪問団員10名、歴代引率者8名、協会関係者4名の出席がありました。

会長の挨拶があり、パフォーマンス披露後に、歴代訪問団員からの「アボツフォードに行った事と今の自分」をテーマにして自己紹介がありました。歴代引率者の話などに盛り上がり、歴代の団旗の披露もありました。

この同窓会で何より感動したのは、これまで深川市の支援を頂き深川国際交流協会が

派遣してきたカナダ訪問団に参加した深川の子たちが、この訪問に大なり小なりの刺激を受けて、その後の人生において強い心で活躍していると云う事でした。皆さんの人生



において、心の中にある小さなきらめきであるカナダ訪問団としての出来事を、これからも大切に生き生きと活躍して欲しいと願うばかりです。最後に参加した先輩訪問団員から協会にご寄付があつた事を申し添えて報告と致します。

【深川国際交流協会 副会長 宮川央子】

日本語修得に懸命なフィリピンの若者たち

深川国際交流協会が市内の社会福祉法人アンリー・デュナン会で研修しているフィリピン人の日本語教育に協力して4年が経過しました。先日、うれしい知らせが届きました。最初に来日した3人全員が無事国家試験に合格しました。合格率100%です。全国平均合格率が55%ですから、快挙です。フィリピン研修生の努力もさることながら、法人が積極的に学習の時間を設け指導してきたことの成果です。

国際交流協会としては、このフィリピン人青年たちが、地域の人達と交流を深め、日本人社会に溶け込んでいただくことを願い、ことあるごとに我々の活動に参加を促してきました。明るく元気に仕事に励んでいる彼らの姿を見て、これからも、この地で活躍していただきたいと願っております。

2017年度は、毎週火曜日の午後3時30分から90分間の授業を初級と中級の2クラス体制で行いました。講師は協会員が中心ですが、外部講師にもお手伝いいただいております。日本語の基礎を一緒に勉強するような授業を行っております。フィリピン人研修生のやる気とユーモアを楽しみながら授業を行っています。どなたか協力いただける方がおられましたら是非協会の方に申し出てください。

【会長 小瀧 聡】

深川国際交流協会への寄付

本協会への寄付がありましたのでお知らせいたします。

- ・上村 絵美理さん
- ・半澤 郁奈美さん

深川国際交流協会とは

当協会では、市民のみなさんがさまざまな外国への関心と理解を深めるきっかけ作りをしています。

青少年カナダ交流訪問団派遣、インターナショナルデー、英語で遊ぼう、青少年カナダ交流訪問団報告会&国際文化交流パーティーなどを毎年開催。

「広報ふかがわ」や協会ホームページでお知らせしますのでみなさんぜひお越しください。お待ちしております♪

【協会HP】 <http://www.fukakoku.sakura.ne.jp/>
【事務局】 深川市役所 企画総務部 企画財政課 企画係内
電話 0164-26-2246
E-mail f-kokusai@fukakoku.sakura.ne.jp



深川国際交流協会
シンボルマーク